

VGC-2652 (H)	VGC-2655 (H)	VGC-2659 (H)	VGC-2662 (H)
VGC-3052 (H)	VGC-3055 (H)	VGC-3059 (H)	VGC-3062 (H)
VGC-3352 (H)	VGC-3355 (H)	VGC-3359 (H)	VGC-3362 (H)

機種名	奥行き(mm)		高さ()内はHタイプ(mm)			巾(mm)		
	A	B	C	D	E	F	G	H
VGC-1952	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-1955	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)	1,866.5×n+165	1,866.5×n+85	1,678.5
VGC-1959	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396)				
VGC-1962	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGC-2652	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-2655	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)	2,567.5×n+165	2,567.5×n+85	2,379.5
VGC-2659	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396)				
VGC-2662	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGC-3052	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-3055	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)	2,918×n+165	2,918×n+85	2,730
VGC-3059	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396)				
VGC-3062	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGC-3352	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-3355	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)	3,268.5×n+165	3,268.5×n+85	3,080.5
VGC-3359	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396)				
VGC-3362	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				

- 大屋根からの雨水や、雪が直接ド
ドラーゼの屋根に落ちる場所には
設置しないでください。
- 崖のふち、風当りの強い場所等安
全の確認できない場所には設置
しないでください。
- 給湯器の前には設置しないで
ください。

④ 注意 施工の際には、次の点を必ず守ってください。

- 組み立ては専門業者に依頼してください。
- フロックでの基礎は絶対にやめくたさい。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎とってください。
- フロックに必ず布基礎の水平を確認してください。水平がでないとう、ガレージの建付けが悪くなります。
- 強風時や雨天時の組立はやめくたさい。
- 高所での組立となりますので、足場板、安全帯などを使用して、作業時の安全には、十分注意してください。
- 重荷物・長尺物は運搬・据付の際に複数人数で行い、振り回したり、落としたりしないよう、注意してください。
- 安全のため、手袋をして組立てを行ってください。
- ポルトは口に入れないでください。

⚠ 注意

- 屋根に上る場合は、転倒・転落等に十分注意してください。

⚠ 注意

- 屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。

-
- ボルト M6×15 (白) (色付き)
 ボルト M8×25 (白) (色付き)
 B1バインド 6φ×14
 B1バインド小ネジ M6×14
 ボルト M8×105
 テックス 4φ×13
 ボルト M6×90 +ワッシャー
 ルーフドリルビス 6φ×28
 M8ナット (産金付き) ※14mmピット
 M6ナット
 M8ナット
 M8ナット
 M8袋ナット

注意

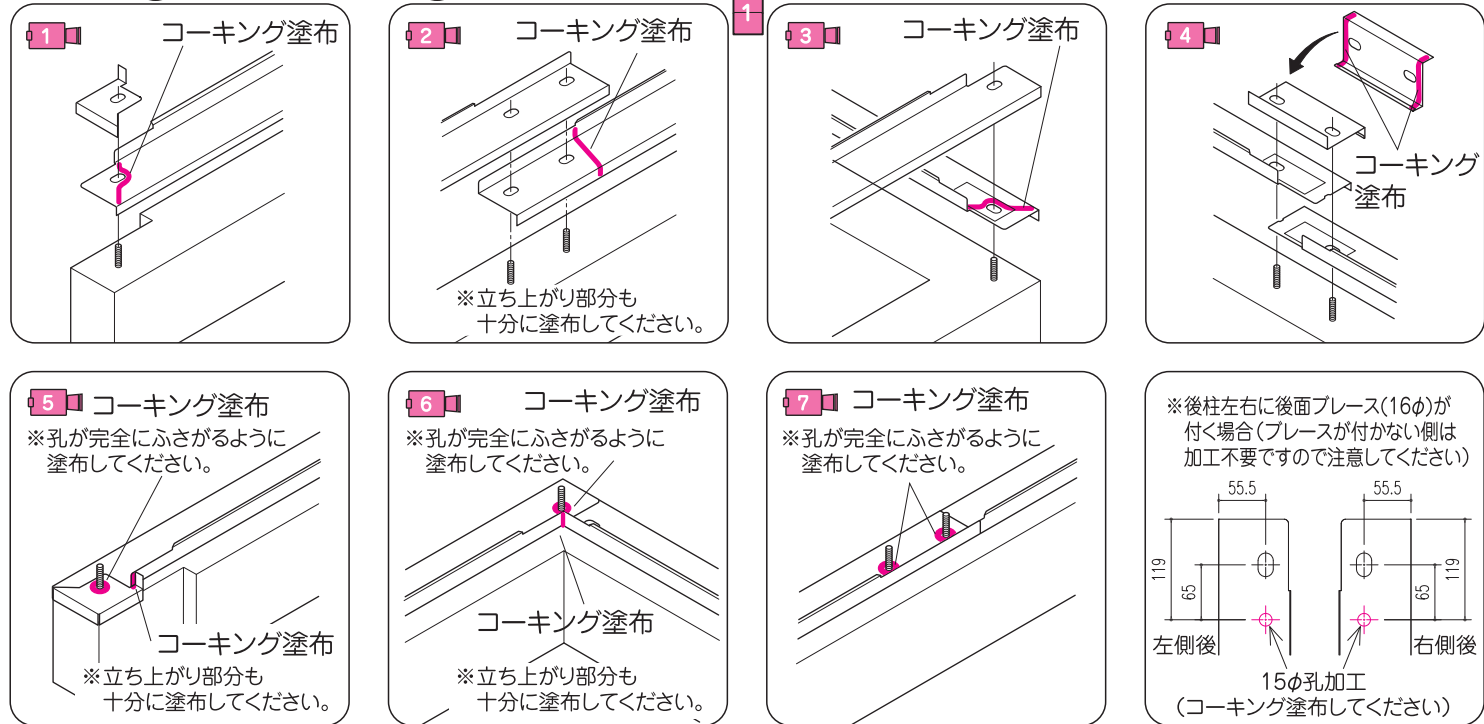
コーキングが不十分だと雨水等が庫内に浸入しますのでしっかりと塗布してください。

※後柱左右に後面ブレース(16φ)を取り付ける場合は、アンカーボルトを増えるため水切り側の後部に乳加工を行ってください(下図参照)

水切り側・左
水切りリカバ(A)左
水切り側・右
水切りリカバ(C)
水切り後
水切りリカバ(A)右
水切り側・左
水切り側・右

※水切りリカバAには左右があります。窓の印を目安に設置して下さい。

(左) (右)



※ここは奥行62タイプ
または間仕切り、中間ブレースを
付ける場合に設置します。

アンカープレート(A)左

アンカープレート(C)

アンカープレート(R)

アンカープレート(A)右

アンカープレート(B)

アンカープレート(C) ※左右共通

アンカープレート(C)

アンカープレート(C) ※左右共通

1

2

3

4

5

※間仕切りを取り付ける場合

アンカーボルトキャップ

アンカープレート(R)

前柱中カバー

ナット×2
ワッシャー
ウールパッキン

アンカープレート(B)

アンカープレート(C)

下枠(左)

下枠(右)

ボルトM8X25(白)

下枠断面図

外

内

下枠(左)

下枠(右)

18 アンカーボルトを本締めします。

注意

下枠33、下枠26には左右がありますので配置図を見て正しく設置してください。

間口33タイプ

下枠33(左)

間口30タイプ

下枠30

間口26タイプ

下枠26(左)

下枠26(右) (左) $\ell=2,478.5\text{mm}$
 下枠30 $\ell=2,829\text{mm}$
 下枠33(右) (左) $\ell=3,179.5\text{mm}$

奥行52タイプ

下枠26 右
下枠26 左

奥行55タイプ

下枠26 右
下枠30

奥行59タイプ

下枠30
下枠30

奥行62タイプ

下枠30
下枠33 左
下枠33 右

① 3: ボルトM8×25(白)

② 1: バインドφ6M8×14+M6ナット
B1バインドφ6M8×14

③ 2: ボルトM8×105+M8袋ナット
ボルトM8×25(白)

④ 2: ボルトM8×25(白)

使用
部品
リスト

1 柱後(左右)

柱後

柱後は、メッキ後柱の上端の切欠きに
引掛けてボルト止めます。

2 ボルトM8×105(白)
M8袋ナット
ネカラー鋼板(白)
M6X14

ボルトM8X105(白)
M8袋ナット
M6ナット

3 面戸取付金具(D)左

面戸取付金具(D)左

ボルトM8X25(白)

面戸取付金具(D)右

ボルトM8X25(白)

面戸取付金具

ボルトM8X25(白)

面戸受けフレームB-N
※メッキ上仕

カーボ連結時はカーボ側には
パネル受けフレームB-Nは取り
付けしないでください。
(面戸フレームは取り付けます。)

面戸受けフレームB-N
(メッキ上仕)
前中

面戸フレーム
(白)
後

ボルトM8X105(白)
ボルトM8X25(白)
M8袋ナット
B1バインド
6ΦX14
面戸取付金具(D)
(左)
面戸取付金具(D)
(右)
ボルトM8X25(白)
面戸取付金具
ボルトM8X25(白)
面戸受けフレームB-N
※メッキ上仕

上枠後(左)

上枠前(左)

M8ボルト

M8ワッシャー

M8ナット

M8ボルトM8X25(白)

上枠後(右)

M8ボルトM8X25(白)

上枠前(右)

M8ボルトM8X105(白)

M8ナット

M8ボルトM8X25(白)

上枠前(右)

M8ナット

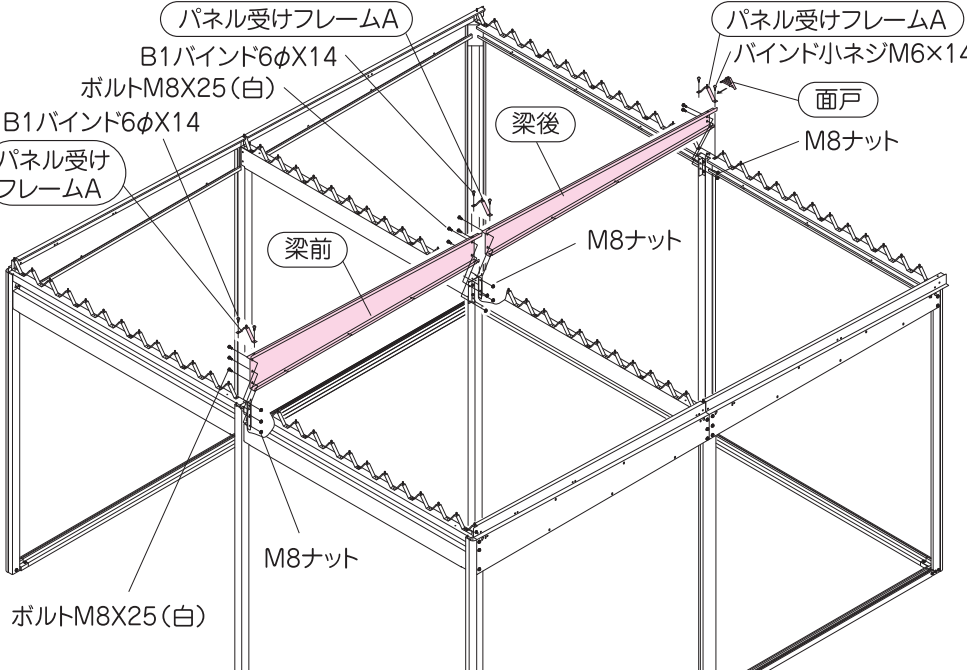
M8ボルトM8X25(白)

M8ボルトM8X105(白)

ツメを柱上端の切欠き
に引掛けてボルト
止めします。

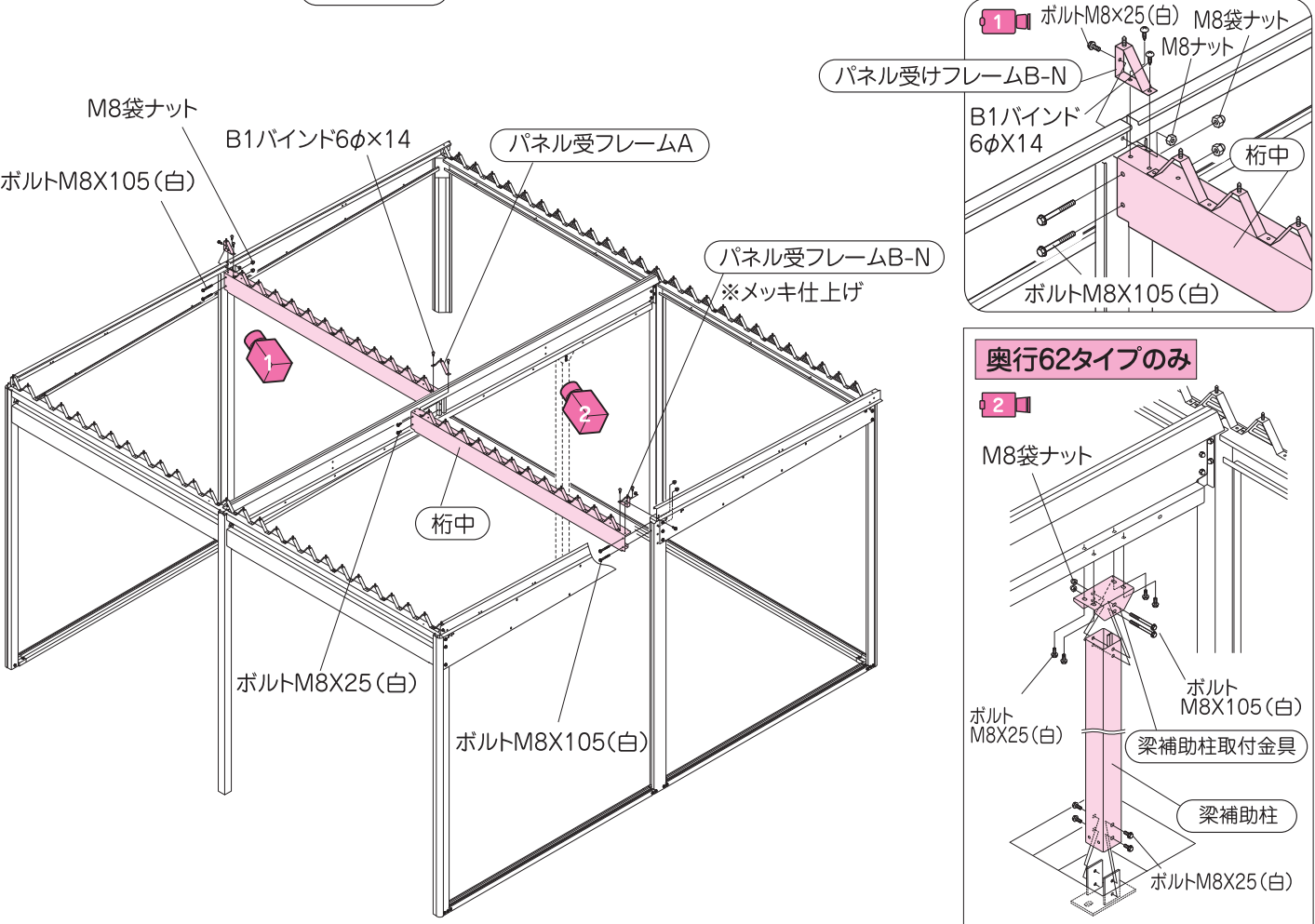
9-2 梁の取付け (間仕切り・中間ブレースを取付ける場合)

- ① 梁前 を前柱中・中柱中に取り付けます。
- ② 梁後 を中柱中・後柱中に取り付けます。
- ③ パネル受けフレームA、面戸を桁前・桁中・桁後の連結部分に取り付けます。



10 桁中、梁補助柱の取付け (1本梁の場合)

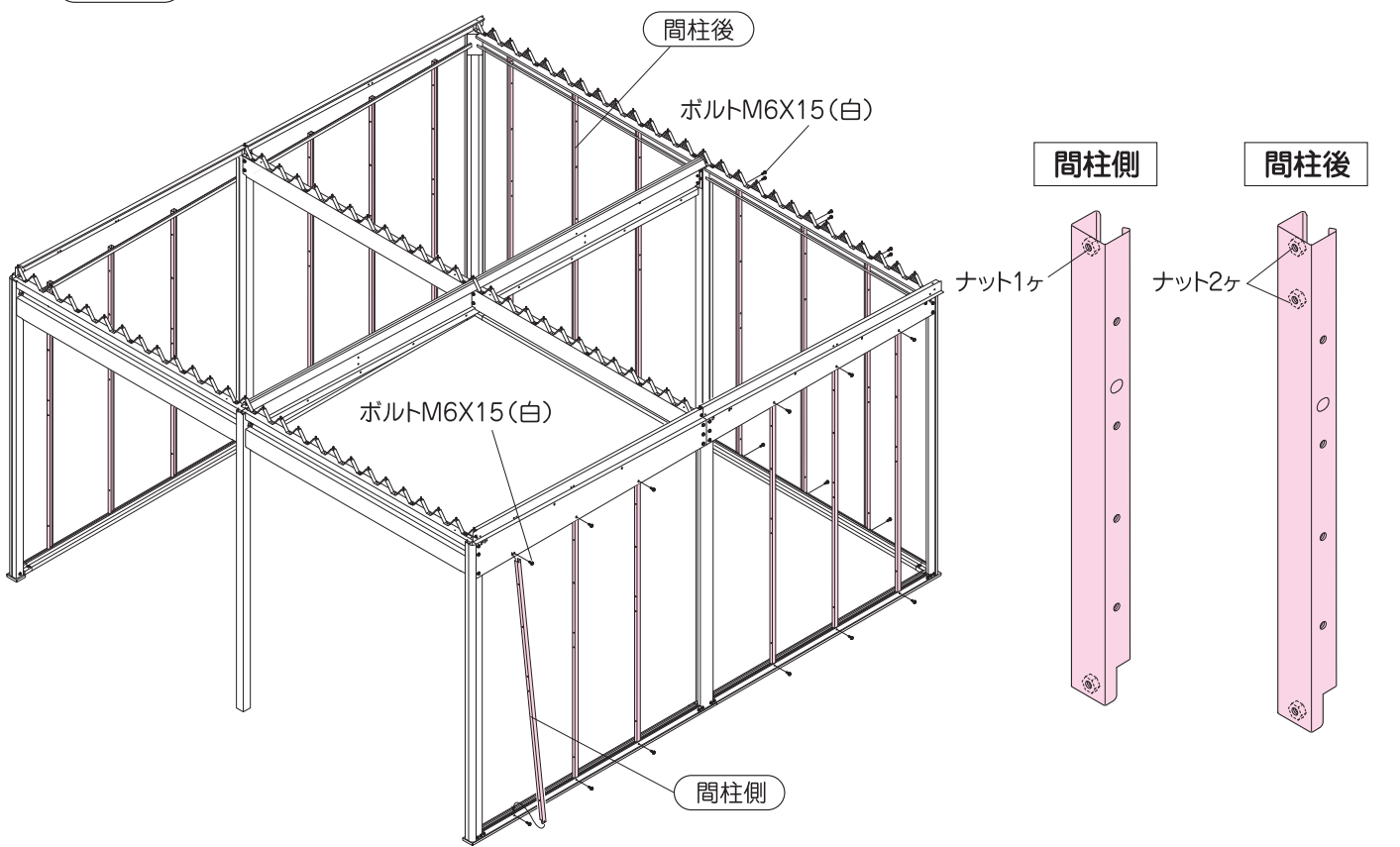
- ① 桁中 を柱・梁に取り付けます。
- ② パネル受けフレームA・B・N をそれぞれ桁の連結部、端部に取り付けます。
- ③ 奥行き62タイプのみ、梁補助柱 を梁の下に取り付けます。



11 間柱の取付け

注) 強風地向け補強材」を取り付ける場合、上枠補強材を先に上枠に載せて間柱と一緒に固定してください。 ※間柱は専用間柱になります。(板厚1.6mm)

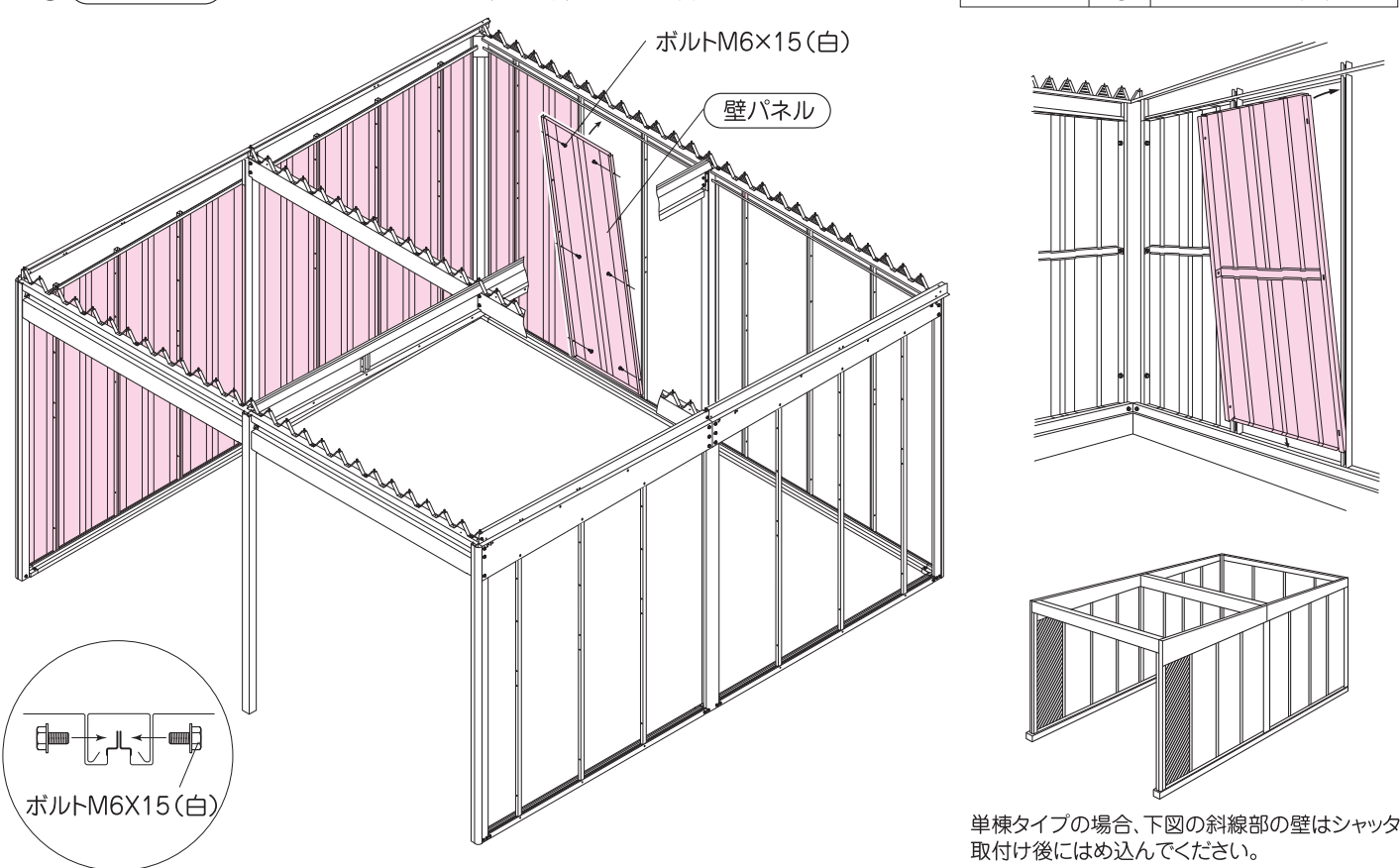
- ① 間柱側 を側面の下枠、上枠左右に取り付けます。
- ② 間柱後 を後面の下枠、桁後に取り付けます。



12 壁パネルの取付け

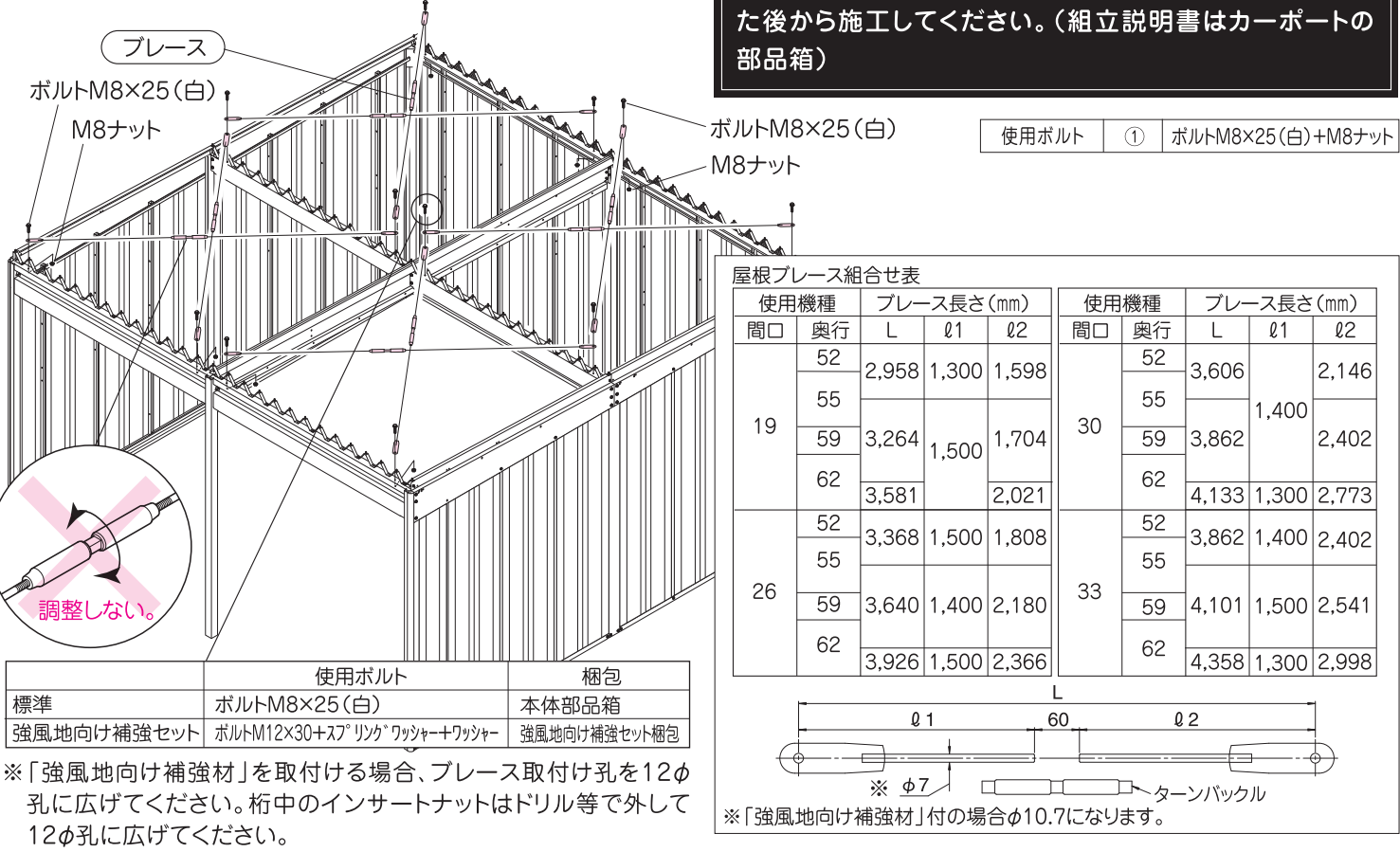
注) 引戸、補助ドア、サッシ窓のある場合は壁パネルの取付けと同時に行ってください。

- ① 壁パネル を室内からはめ込み柱、間柱に取り付けます。



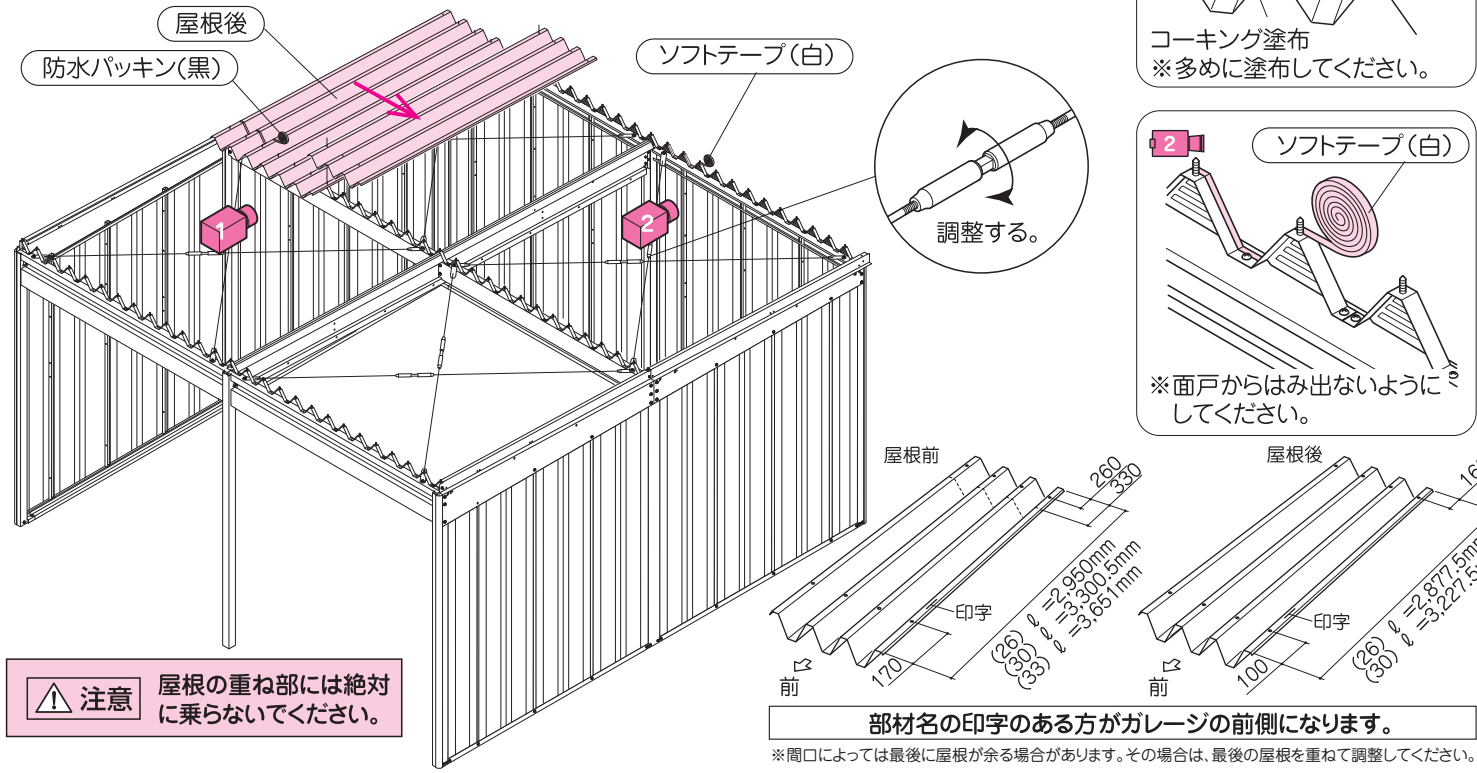
13 ブレースの取付け

- ① ブレース を桁に取り付けます。
※調整は屋根を載せた後にします。
(先に調整すると屋根が入らなくなる可能性があります。)



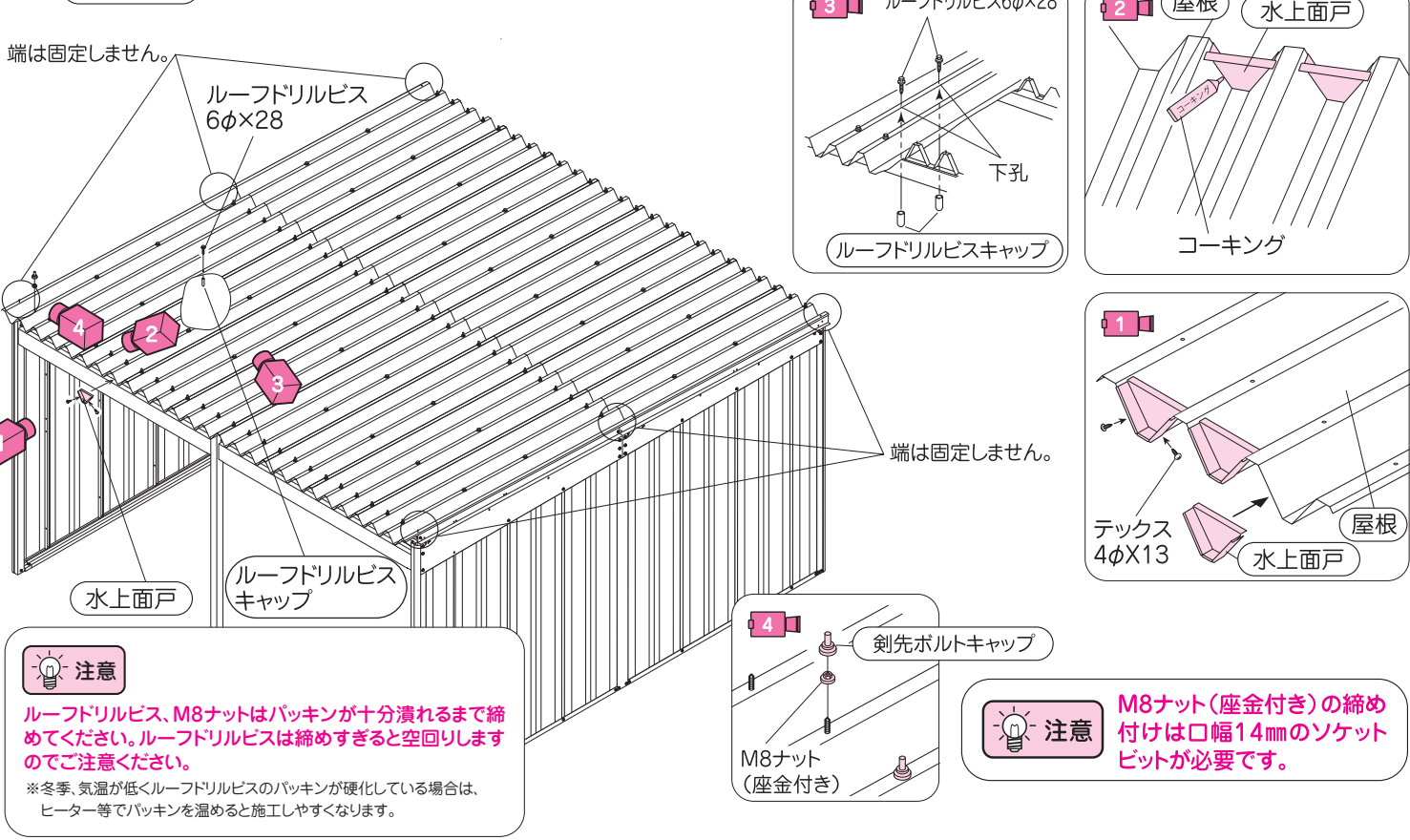
14 屋根の設置、建付け調整

- ① ソフトテープ(白) を桁後のタイフレームに沿って貼り付けます。
- ② 屋根後 を向かって左から載せていきます。
- ③ 防水パッキン(黒) を屋根後の前側に貼り付けコーキングを施します。
- ④ 屋根前 を向かって左から載せていきます。
- ⑤ ブレースのターンバックルを回して本体の建付け調整を行います。



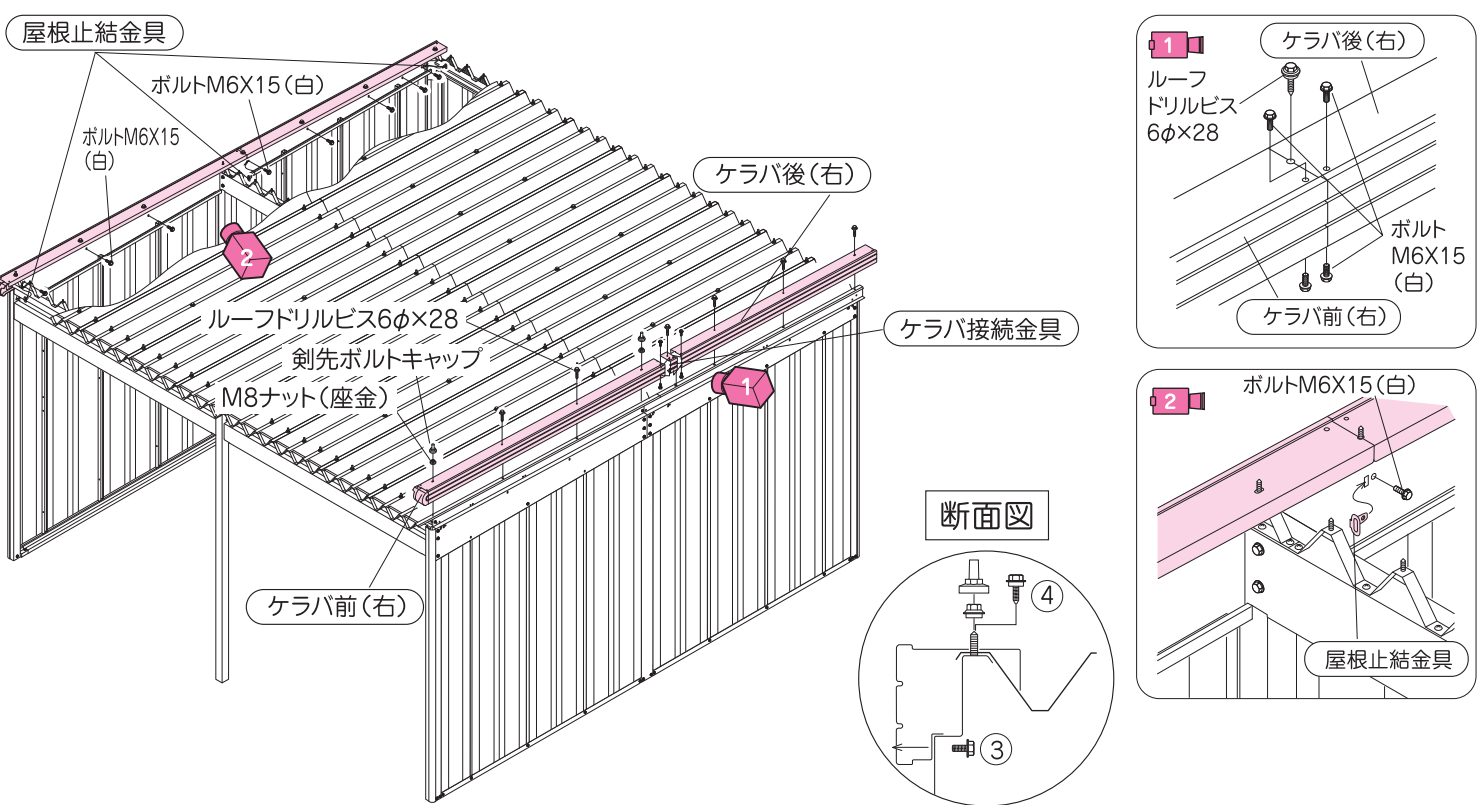
15 屋根の固定

- ① 屋根 の両端部を残し屋根をタイフレームに固定し、(剣先ボルトキャップ) を嵌めます。
- ② 屋根 の流れ方向の重ね部を固定し(ルーフトリルビスキャップ) を屋根裏からがぶせます。
- ③ 水上面戸 を水上側に取付けコーキングを施します。



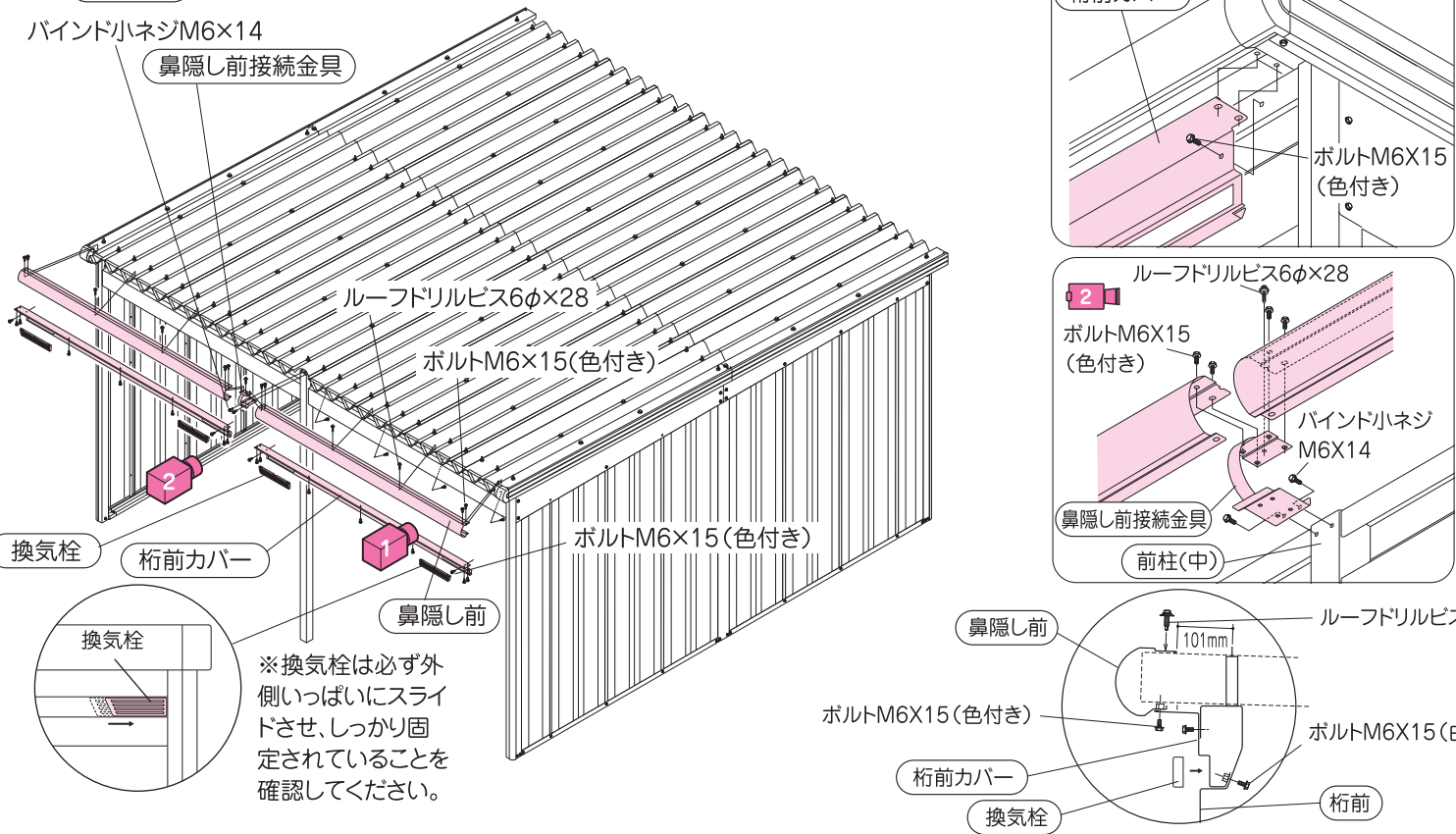
16 ケラバの取付け

- ① ケラバ接続金具 をケラバ前に取り付けます。
- ② ケラバ前、ケラバ後 を上枠に取り付けます。
- ③ 庫内から ケラバ を固定します。(3ヶ所は 屋根止結金具) を用いてボルト固定します。)
- ④ ケラバ上面を屋根に固定します。



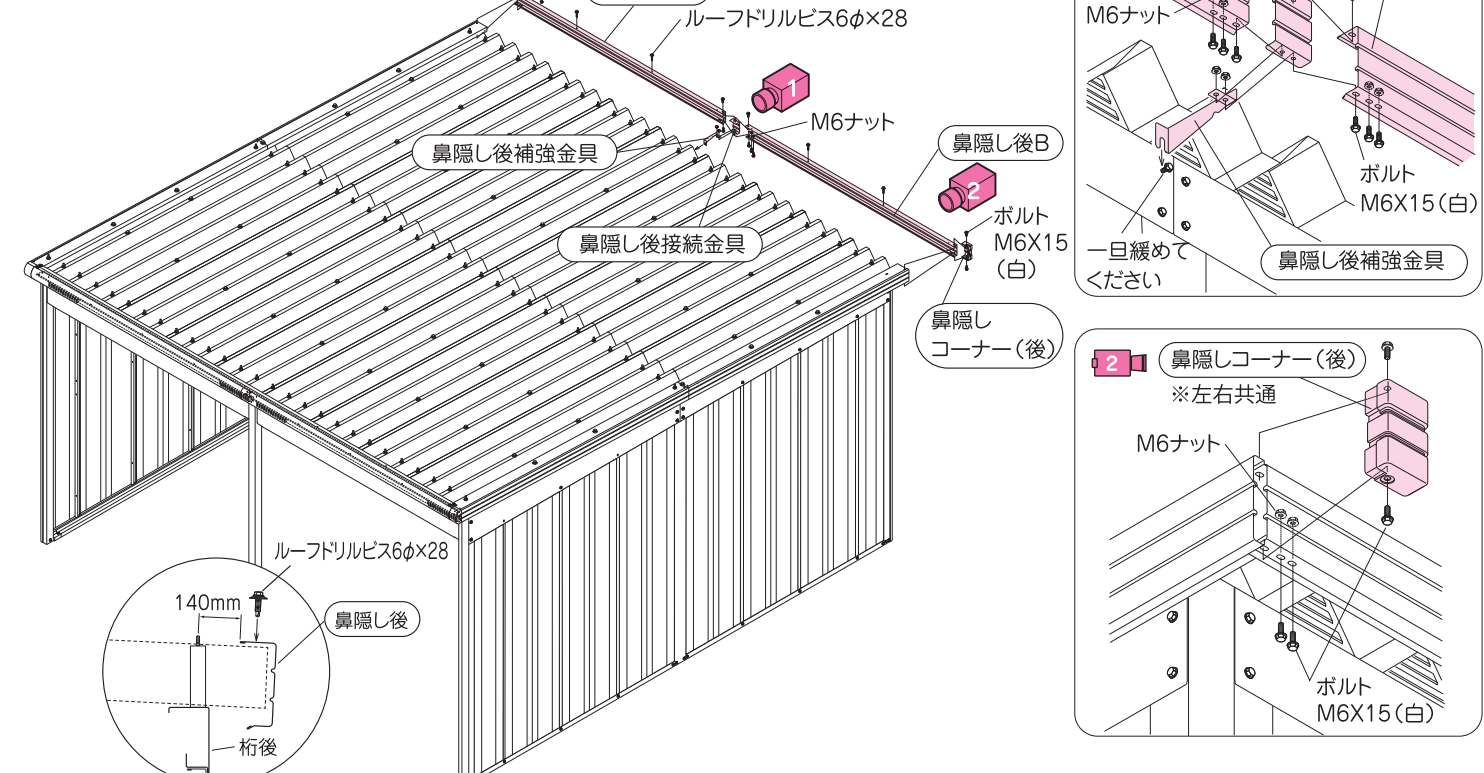
17 鼻隠し前の取付け

- ① ※連棟の場合、(鼻隠し前接続金具) を前柱中に取り付けます。
- ② 鼻隠し前 を屋根、ケラバコーナー樹脂に取り付けます。
- ③ 桁前カバー を桁前、鼻隠し前に取り付けます。
- ④ 換気栓 を桁前カバーに取り付けます。



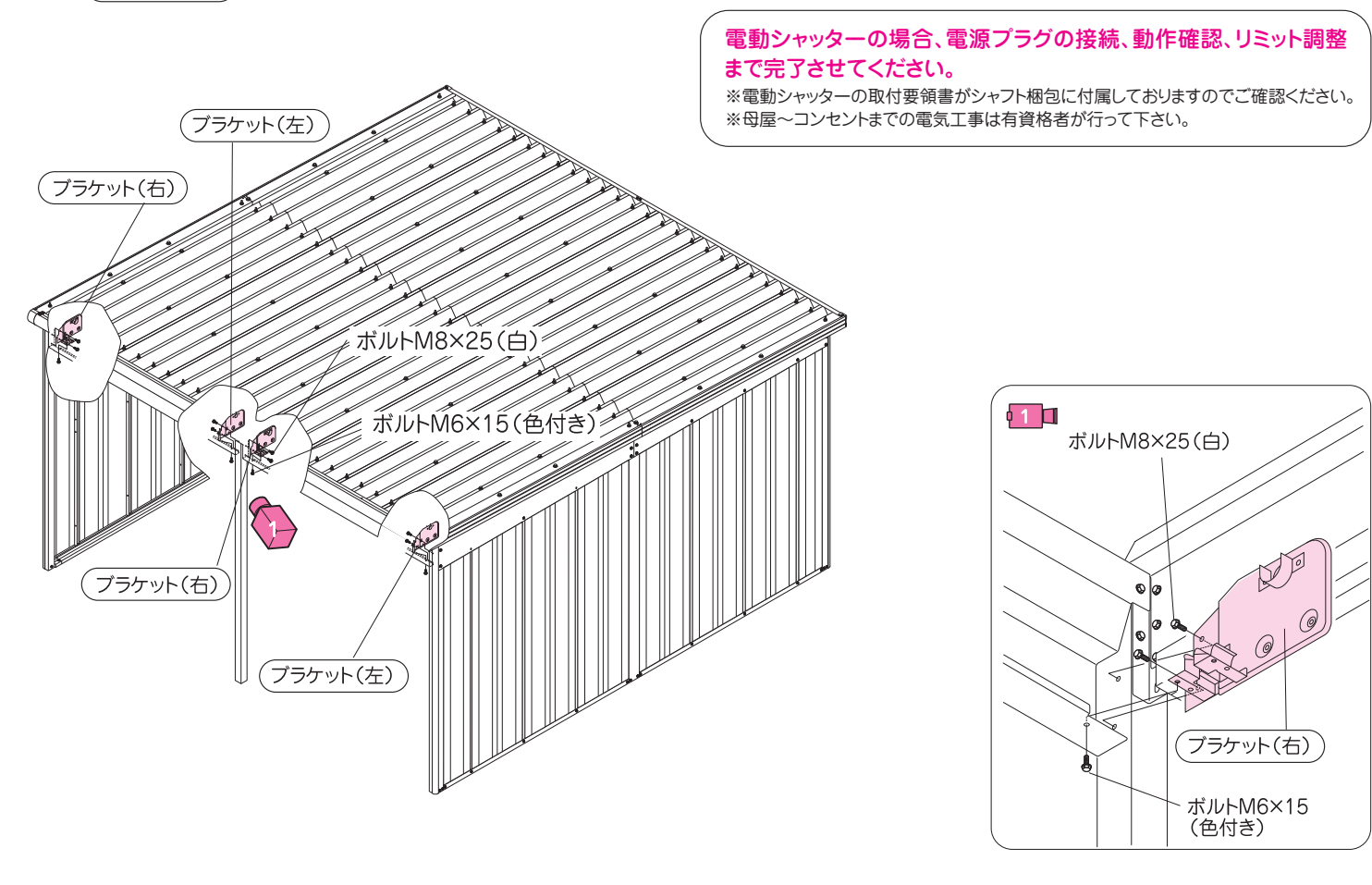
18 鼻隠し後の取付け

- ① ※連棟の場合 (鼻隠し後接続金具) を桁後に取り付けます。
- ② 鼻隠し後 を屋根に取り付けます。
- ③ 鼻隠しコーナー樹脂(後) を鼻隠し後、ケラバに取り付けます。
- ④ ※連棟の場合 連結部は (鼻隠し後接続金具)、(鼻隠し後補強金具) に取り付けます。



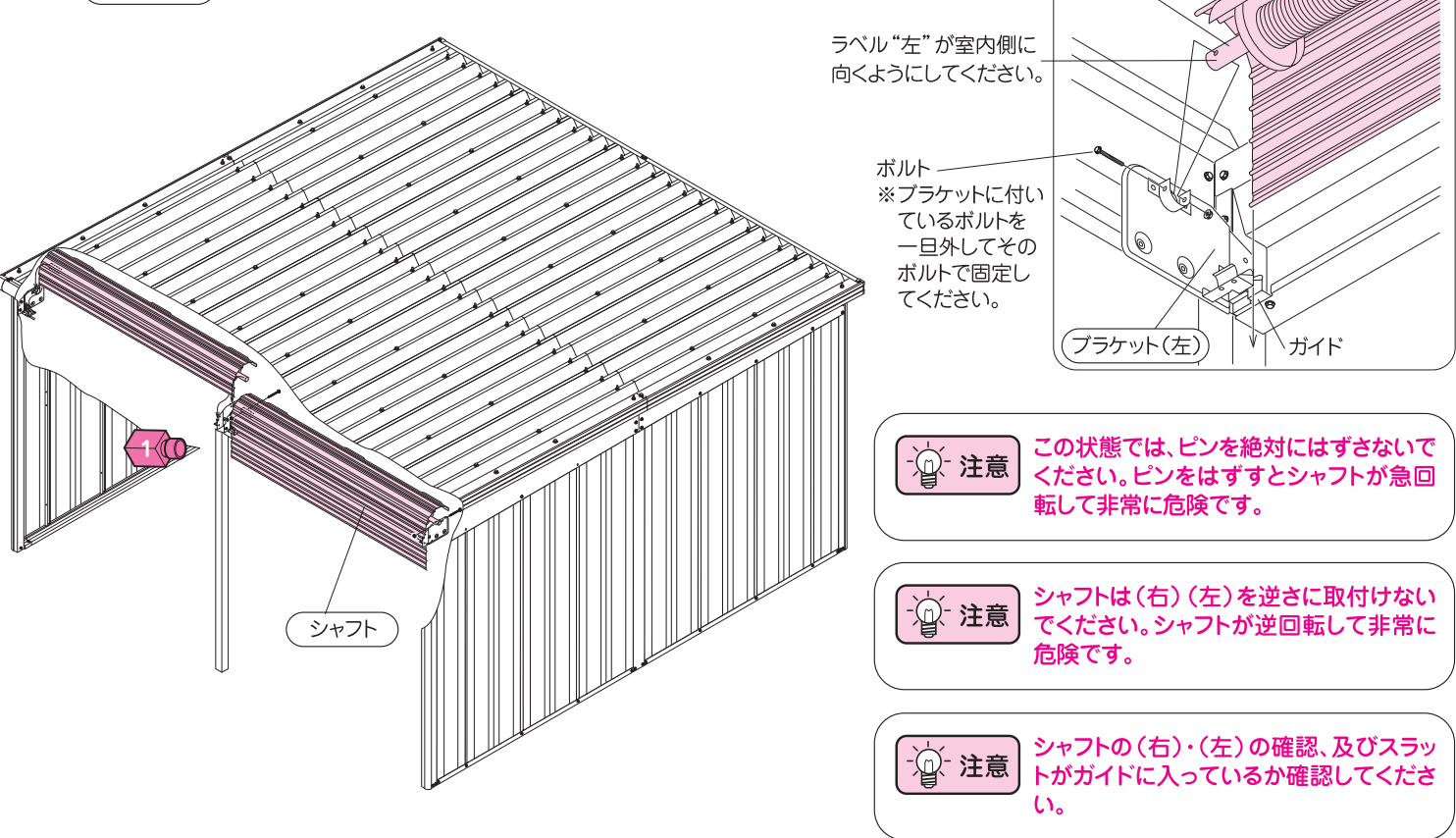
19 シャッターブラケットの取付け

- ① ブラケット を柱、桁前に取り付けます。



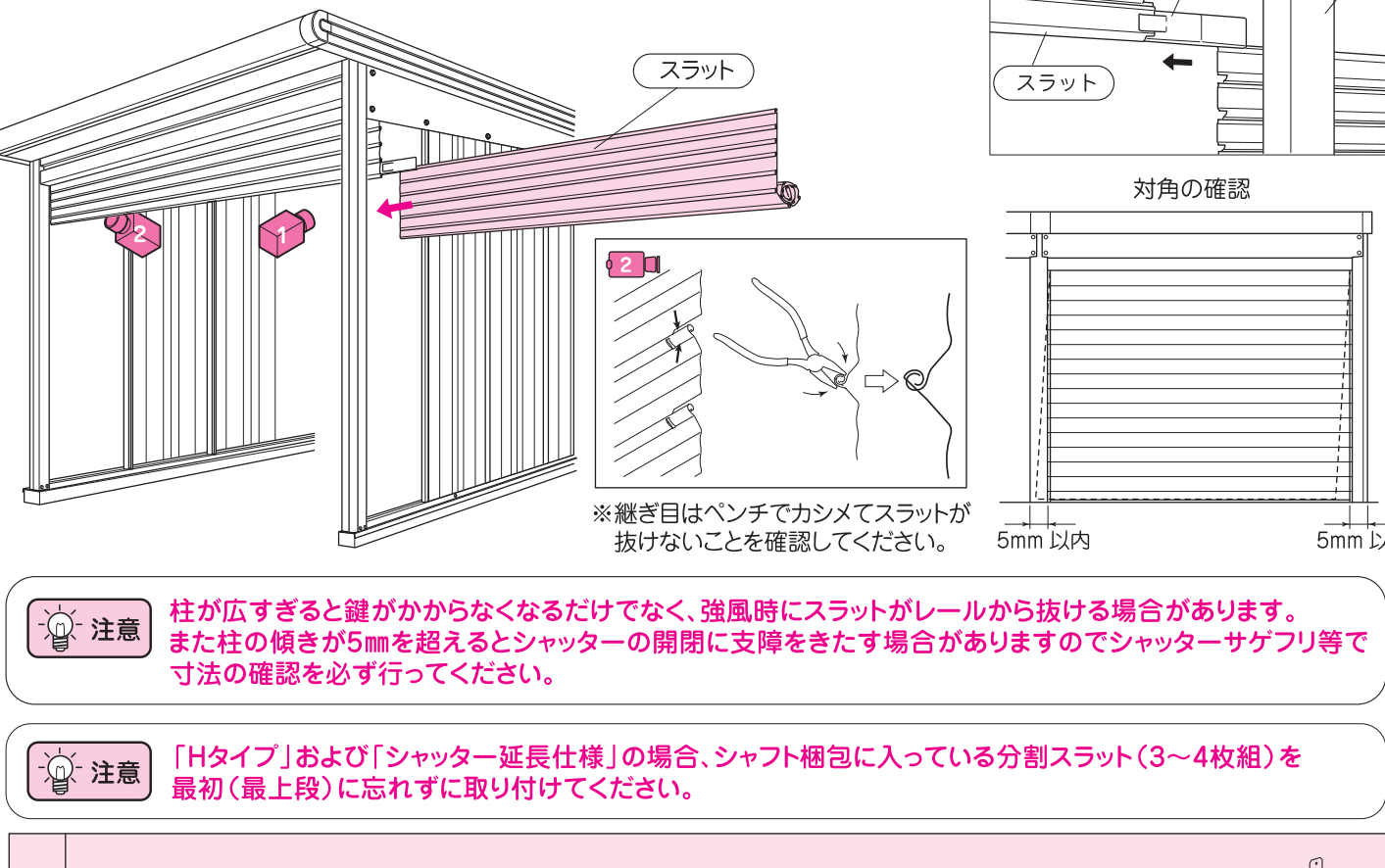
20 シャッターシャフトの取付け

- ① (シャフト) をブラケットに取り付けます。
(左右のラルが室内側に向くようにして取り付けてください。)
- ② (スラット) をブラケットのガイドに通します。



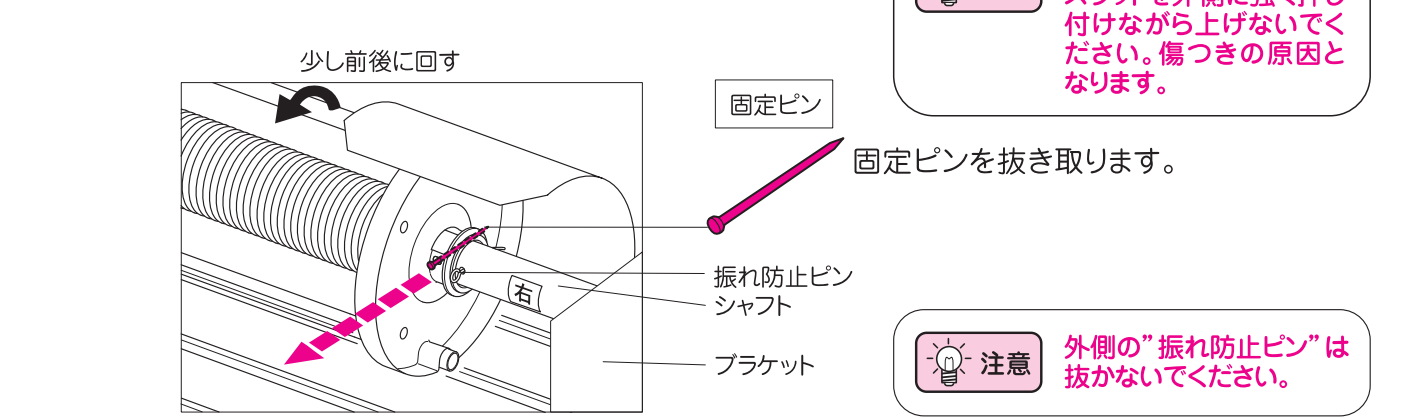
21 スラットの吊りこみ

- ① (スラット) を差し込みガイドを使って順次差し込みます。
- ② 継ぎ目をカシメます。(両端カシメてください。)
- ③ 柱の建ちを確認します。



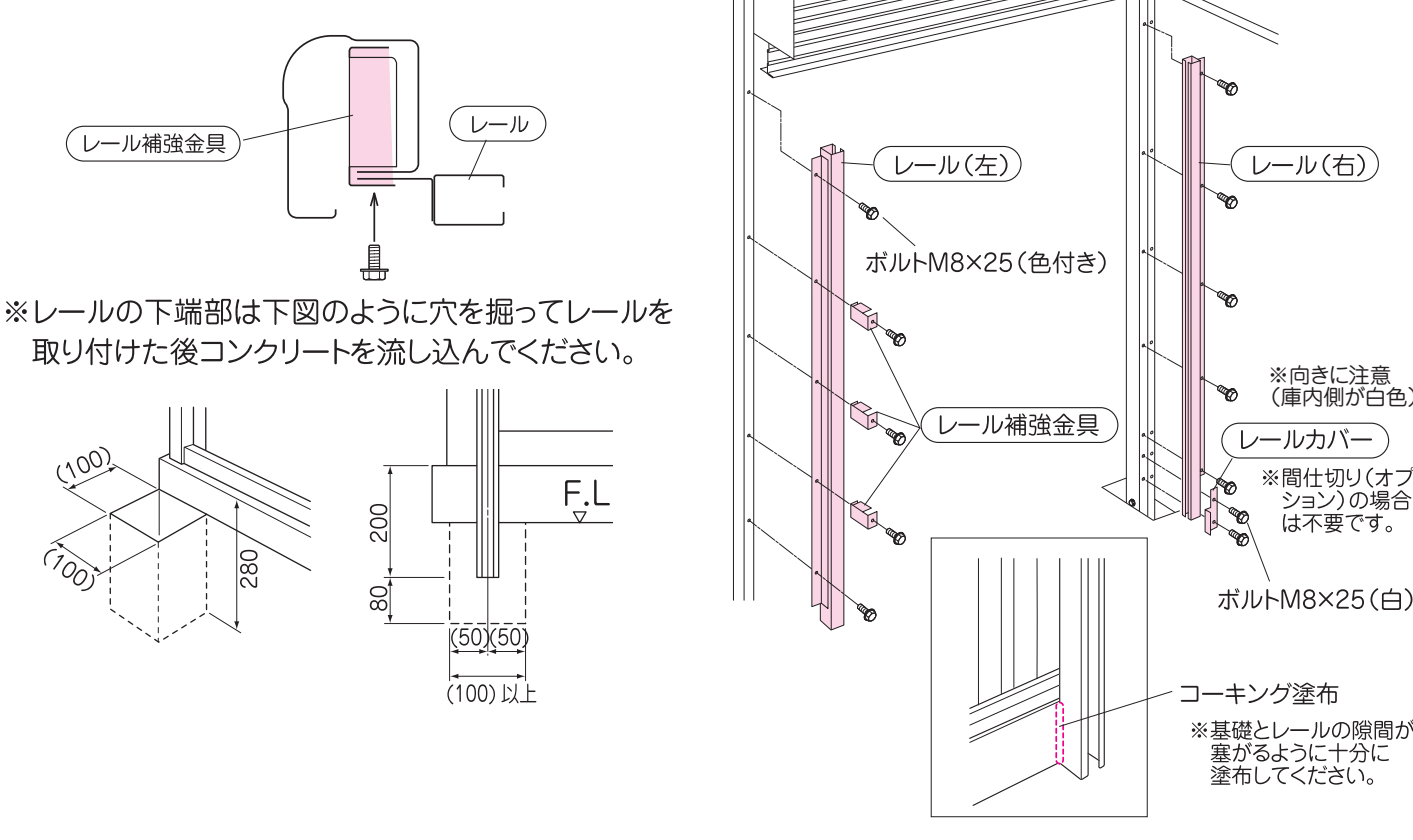
22 シャフト固定ピンの抜き取り

- ① シャフトの両端にある固定ピンを抜き取ります。
- ② スラットを巻き上げます。



23 レールの取り付け

- ① レール を前柱に取り付けます。
- ② 両サイドの柱には、中央3ヶ所に(レール補強金具)を取付けます。
- ③ 連結部は下部に(レールカバー)を取付けます。
- ④ 基礎部分にコーキングを塗布します。



24 完成

- 最後に、ボルトのゆるみがないかどうかもう一度確認し、前柱(中)、中柱(中)部分にコンクリートを流し込んでください。デッキ等の切粉は必ず取り除いてください。下図の位置に銘板を貼付けてください。鍵は錠の裏側にあります。お客様にお渡しください。本書と取扱説明書はお客様にお渡しください。

